

各地で地域のおまつりが行われました

●鍛冶ヶ谷町内会

7月27日(土)、28日(日)の二日間、鍛冶ヶ谷西公園で「夏祭り盆踊り大会」が開催されました。出店はどこも大賑わいでした。

二日目の最大イベントは抽選会で、すてきな景品が用意されていました。

老若男女が集まって地域が一体となった楽しいお祭りでした。



●港南台プリンスハイツ自治会

7月13日(土)、蛇名公園で「夏祭り」が開催されました。午前中には、暑さにも負けず子どもたちが元気に神輿を担ぎ、午後からは多くの模擬店と、桜井小学校、上郷中学校、山手学院にご協力いただいた催し物などで大盛況でした。



●元大橋町内会

8月3日(土)、「元大橋ふれあいまつり」が中野幼稚園で開催されました。桜井小学校児童による「桜井ソーラン」から始まり、昇龍の和太鼓で会場が一気に盛り上がり、大道芸の「たけちゃん」のパフォーマンスには会場は大喝采でした。たくさんの模擬店も出店し、会場はお祭りムード一色となりました。

最後にはお楽しみ抽選会もあり、町内会の皆さんの交流の場として楽しい一日になりました。



●ローレルスクエア港南台自治会

9月14日(土)、鍛冶ヶ谷北谷公園で「ローレル自治会創立10周年ふれあい秋祭り」が開催されました。

創立10周年の式典で始まり、鍛冶ヶ谷獅子舞、小学生の「ソーラン踊り」、ピンゴゲーム、軽音楽演奏、フラダンス、豪華商品大抽選会と14種類の出店で大賑わいでした。

老若男女が集まって、自治会の10周年をお祝いする楽しいお祭りでした。



防災への備えを万全に ～地域防災拠点防災訓練～

地域防災拠点防災訓練が、9月1日(日)本郷中学校と本郷小学校で、9月7日(土)小山台小学校で、9月28日(土)桜井小学校で行われました。訓練には多数の地域住民が参加し、避難所開設訓練、情報伝達訓練、AED心肺蘇生訓練、発電機・投光機操作訓練、仮設トイレ取扱訓練や防災倉庫の確認などが行われました。防災への備えの大切さを改めて感じた一日でした。



編集委員：水越春彦 本間和男 片山栄一 鳥越和子 杉本須美子 佐藤喜久子
協力：栄区社会福祉協議会 中野地域ケアプラザ
連絡先：中野地域ケアプラザ (担当：富永 TEL 045-896-0711 FAX 045-896-0713)

本三みらい

発行者 村田可代子
◇本郷第三地区
社会福祉協議会
◇本郷第三地区
支えあいネットワーク

ボランティア研修会 開催 ～支えあいネットワーク ボランティア分科会～

6月14日(金)、中野地域ケアプラザにて、ボランティア分科会主催による研修会「発達障がい理解に関する啓発講座」が開催されました。

栄区自立支援協議会作業部会「えびっど」のメンバー5名を講師に迎え、パネルパペットシアター(パネルや人形を使った寸劇)を通し、発達障がいについて学びました。参加者は25名でした。

この講座は「障がいの有無」ではなく、「感覚の違い」という視点で、具体的な例を交えながら説明が行われました。

内容がわかりやすく、「積極的な見守り」の方法など、障がい者への理解を深めることができ、身近なこととしてとらえることができました。



“自助”に関する講座 開催 ～支えあいネットワーク 災害時分科会～

8月3日(土)、栄区役所新館にて、災害時分科会の主催による「“自助”に関する講座」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、50余名の方の参加がありました。

第1部の「命を守る防災講座」では、横浜栄・防災ボランティアネットワークの宇都宮直哉さんを講師に迎え、自然災害の恐ろしさを改めて確認しながら、自分や家族の命を守るためにできることを考え、併せて、平常時にできる家具の転倒防止や家の耐震補強などの重要性を学びました。

第2部の「いざという時のための『食』の備え」では、栄区福祉保健センター管理栄養士の関昌子さんが講師となり、家族構成を考慮した備蓄食品や、買い置きした食品を無駄にしないための「サイクル保存」などを学びました。



当日は、ボランティアグループ「いでたち」による家具転倒防止用器具の展示もあり、日頃からの災害への備えの大切さを考えるよい機会となりました。

「慶寿会」のお知らせ

日 時：10月27日(日)
10時～14時
場 所：本郷小学校 体育館
内 容：本郷小学校児童の
合唱とダンス
日本舞踊
マンドリン演奏
ジャグリング など

本郷第三地区社会福祉協議会の歩み

栄区と本郷第三地区

昭和61年（1986年）11月3日、戸塚区から分区して栄区が誕生しました。
 栄区の世帯数は55,208世帯、人口は125,422人（25年7月31日）で、高齢化率は市内で最も高く25.6%となっています。
 栄区には7つの地区があり、本郷第三地区は9つの町内会・自治会で構成されています。
 本郷第三地区の世帯数は7,350世帯、人口は17,500人です。

本郷第三地区社会福祉協議会（略称：地区社協）について

1 設立と当時の活動

昭和55年に連合町内会の下部組織として設立され、今年で設立33年になります。当初は、敬老会助成とボランティア団体への助成や寝たきり老人慰問金（平成18年に廃止）などが主な活動でした。



平成18年の慶寿会の様子

2 組織改革

平成15年に、地区社協を連合町内会の下部組織から独立した組織へ変え運営していくことになりました。各町内会・自治会から会費をいただき、活動に対しては、町内会組織、民生委員児童委員、保健活動推進員、友愛活動推進員、その他各種団体の協力を得るようにしました。

3 活動の歴史

- 平成11年 地区社協主催の「長寿会」、民生委員による一人暮らし高齢者対象の「懇親会」開始
- 平成12年 「支えあい連絡会」発足（事務局：中野地域ケアプラザ）
- 平成14年 支えあい連絡会と地区社協共同で「地域の高齢者ニーズ調査」を実施
- 平成15年 「長寿会」と「懇親会」を統合して、「慶寿会」を立ち上げ（11月）
- 平成15年 高齢者ニーズ調査に基づき「配達するお店リスト」を支えあい連絡会が発行（11月）
- 平成16年 栄区地域福祉計画策定に参画、12月素案発表、17年4月計画発表
- 平成17年 支えあい連絡会主催「支えあいの集い」開催（7月）
- 平成17年 第3次栄区地域福祉活動計画策定に参画（7月）、18年4月計画発表
- 平成17年 3つのサロンと1つの世代間交流事業（※1）を立ち上げ（10月）
- 平成18年 「地域見守りネットワーク」立ち上げ（4月）
- 平成18年 「ふれあいマップ」と「買い物情報シート」（配達するお店リストの改訂版）発行
- 平成21年 第2期栄区地域福祉保健計画策定に参画（7月）、22年4月計画発表
- 平成21年 広報紙「本三みらい」創刊（9月）
- 平成22年 「支えあい連絡会」と「見守りネット」をひとつにして「支えあいネットワーク」を立ち上げ、5つの分科会（※2）を発足して活動開始（7月）
- 平成22年 設立30周年式典開催（10月慶寿会当日）
- 平成23年 「なでしこサロン」立ち上げ、4つのサロンになる（※1）。

※この記事の作成においては、資料提供をはじめ、本多前会長にご協力をいただきました。

（※1）

4つのサロン

- プリンス会館おしゃべりサロン
- 中野・富士見ふれあいサロン
- 鍛冶ヶ谷・ローレル地区ふれあいサロン
- なでしこサロン

世代間交流事業

- みんなの広場たけのこ

（※2）

支えあいネットワーク 5つの分科会

- 訪問活動分科会
 - 災害時分科会
 - 広報分科会
 - ボランティア分科会
 - 子育て関連分科会
- 分科会名の前の色はテーマカラーです

歴代地区社協会長紹介（敬称略）

平成5～10年度

稲川 富子（故人）

平成10年度

柳下 儀兵衛（故人）

平成11～14年度

足立 裕

発足してから日が浅く、地区社協の組織自体も十分ではなく、模索しながらの活動でした。



平成15～16年度

若林 テル子

当時の敬老会行事は中野地域ケアプラザで行っていました。
 （「慶寿会」の命名をされました。）



平成17～24年度

本多 輝男

皆様のご協力により活動を活性化することができました。
 今後、活動がますます活発になることを願っています。



平成25年度～

村田 可代子



活動団体紹介 No.8

中野・富士見ふれあいサロン

「中野・富士見ふれあいサロン」を立ち上げて早や8年になります。深い緑と清々しい空気のきれいな本郷に生まれ育って、何ひとつ不自由がないと思われませんが、なかなか思い通りとはいきません。それもまた人生というものです。昭和時代の苦しかった時代を懸命に生き抜いた大先輩と語り合うのもまた楽しいものです。人生の後半、感謝の気持ちを失うことなく、素直に「ありがとう」が言える楽しいサロンにしていくよう、今後懸命に取り組んでいきたいと思っています。

（代表 小見山賢治）

